

2022年3月28日

公益財団法人青森学術文化振興財団

理事長 若井 敬一郎 殿

申請者

住所又は所在 青森県青森市大字合子沢字山崎 153-4

所属大学等又は団体名 青森公立大学

申請者又は代表者職氏名 教授 香取 真理 印

連絡先 (017) 764-1555

事業実績報告書

令和3年4月1日付け青学財第1号で交付決定のあった遠隔英会話授業における効果的なeポートフォリオシステムの構築事業が完了したので、公益財団法人青森学術文化振興財団助成金交付要綱第10条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

事業の名称	遠隔英会話授業における効果的なeポートフォリオシステムの構築事業
事業実績	
1 事業実施年度 2021年度	
2 事業実施内容	
<p>2021年度はeポートフォリオシステムの構築とその実施(運用)事業を行った。具体的には会話者のパフォーマンスを文字化し、その使用単語や慣用表現、使用単語の難易度、センテンスの数、パフォーマンス全体の難易度、修正箇所等を学習者に提示し、学習者の試行プロセスを外化することにより、自己調整(self-regulation)や内省(reflection)を促し、本格的運用に向けて、その実用性と有効性を確認することが事業の目的であった。</p> <p>青森県内の大学生数名を参加者とし、週に1回程度(1回1時間程度)のレッスンを約3か月間受講してもらい、毎回レッスン後学習エビデンスを提示した。参加者が学習エビデンスを確認した後、学習者本人からも自己到達度や学習記録などをシステムに入力し、自己修正、自己調整を促した。</p> <p>また、レッスンの後半には、参加者へのカウンセリングを行い、学習</p>	

者それぞれに効果的な学習方法を提案する予定としていた。しかしながら COVID-19 感染拡大防止の観点から、参加者と実際に対面しての最終段階のインタビューやグループでのインタビューは中止とした。また、最終的なインタビュー結果を得られなかったことから、学会誌への投稿も中止とした。

3 事業完了年月日 2022年2月28日

4 成果の還元状況

ACTA International Conference 2021, 27-30 September (於: Brisbane, Australia) にリモート (ビデオ) 参加, そのため交通費, 宿泊費等の発生はない。

5 財団助成事業であることを明記したもの

ACTA International Conference 2021, 27-30 September (於: Brisbane, Australia) へのリモート (ビデオ) 参加の際, 口頭にて財団助成事業であることを述べた。

※事業の実施状況について詳細に記載すること。別紙添付も可。

(添付書類)

- 1 収支決算書 (様式第10号)
- 2 助成対象経費の支出に係る領収書等の写し
- 3 助成事業の成果品その他成果を証明するもの (研究論文、公開講座のパンフレット、学術図書の印刷物等)
- 4 助成事業の成果の地域への還元状況を証明するもの (機関リポジトリ等掲載画面の写し、公開講座の記録写真、図書館の受領書、電子書籍頒布画面の写し等)
- 5 助成を受けた事業であることを明記したもの (成果品、ポスター、パンフレット等)
- 6 その他理事長が必要と認める書類